

令和5年度第1回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 令和5年7月11日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで
 場 所 日進市民会館2階 視聴覚室
 出 席 者 松本幸正(会長)、吉井竜良(委員)、伊東美佐紀(委員)、小林裕之(委員)(代理:徳田裕二)、大野淳(委員)、若杉将成(委員)(代理:小林弘昭)、花村元気(委員)(代理:山本英和)、池村尚哉(委員)、宮川高彰(委員)、石屋義道(委員)(代理:吉野敬太)、大久保陽一郎(委員)、神野建三(委員)、鈴木直宏(委員)、菅美佐子(委員)、木俣恵子(委員)、寺田裕美(委員)、水野隆史(委員)
 欠 席 者 多田直紀(委員)、吉金典晃(委員)、吉田浩美(委員)、染川和也(委員)
 事 務 局 生活安全部 杉田部長
 防災交通課 鬼頭課長
 防災交通課移動政策室 三好室長、井筒室長補佐、水谷主査、石田主事
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり(6名)

発 言 者	内 容 (要 旨)
事 務 局	<p>新たに委員となった方については、前任の方の在任期間をもって委嘱状の交付をいたしました。本来であれば市長より直接交付させていただくところですが、郵送交付に代えさせていただきます。</p> <p>(新任委員及び事務局職員紹介)</p> <p>それではただいまより、令和5年度第1回地域公共交通会議を開催します。</p>
会 長	<p>5月にコロナも5類になって、行動制限も緩和されました。公共交通もやっと戻ってくるかと思います。</p> <p>今まで手控えた方々も出てくる時代になったなと思いつつも、第9波という少し心配な面もありますが、これから公共交通の利用、もっと外出していただくということが何より重要だと思っております。今年度、そういった利用促進含めて、皆さんと一緒にやっていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしく願いいたします。</p>
事 務 局	<p>21人中17人の出席を頂いており、会議の成立を報告いたします。</p> <p>この会議では議事録作成のため、ICレコーダーでの録音を承諾いただき、ご発言の際にはマイクを使用いただきますようお願いいたします。</p> <p>会議は原則公開としていますが、会長が公開の可否について委員に諮ることとなっております。</p> <p>本日の会議は感染症対策のため、Web上で傍聴するものとします。</p>
会 長	<p>今回の議題は、特に非公開とするような内容は含まれておりませんので公開とさせていただきます。よろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>異議なし。</p>
会 長	<p>では、本会議を公開とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>それでは、議事に入ります。議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条で会長が議長を行う旨、規定されておりますので、松本会長よ</p>

	ろしくお願いいたします。
会 長	<p>それではここから私の方で議事進行を務めさせていただきます。皆様ご協力よろしく お願いします。</p> <p>議事に入ります前に今年度第1回目ということもあり、今回初めて委員となる方もお 見えですので、お手元の「活発で良い議論ができる会議のため。」の資料について中部 運輸支局様からお願いいたします。</p>
委 員	冊子に基づき、公共交通会議の位置付け等について説明
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、報告事項（1）令和4年度日進市地域公共交通会議事業報告歳入最終決算報告 ということで事務局からお願いいたします。</p>
事 務 局	報告事項（1）について説明
会 長	報告にはなっておりますが、公共交通会議で予算を持っておりますので、委員の承認 をいただきたいと思います。異議等がありますでしょうか。
委 員	異議なし
会 長	<p>特にご異議はございませんでしたので、会議としても承認したとさせていただきます。</p> <p>それでは次に進みたいと思います。</p> <p>（2）令和4年度の運行実績について（3）令和5年度の運行状況について事務局よ り説明をお願いします。</p>
事 務 局	（2）令和4年度の運行実績について（3）令和5年度の運行状況について説明
会 長	ご質問ご意見などありますでしょうか。
委 員	コロナ前に比べて伸び率が少ないというところで、定期券で利用していた層の乗換者 についてカウントができていない、高齢者の方のご利用が回復していないというこの 2点ということだと思います。乗換えの利用者がどれくらいいるか、なにか把握する 手段をとっていますか。
事 務 局	現在は、紙の定期券を利用の方や無料パスカードでご乗車いただいている方につい ては、実態として、どの路線でどのような属性の方が何人乗車されたということは把握が できない状態になっています。これを把握する手法が大切だと感じており、検討をし ております。
会 長	<p>コロナで2年ガクンと落ち込んで、その後徐々に回復をしておりますが、令和5 年度の先ほどの報告を見ただけですと、そこまで勢いよく戻っていくような感じ はないです。</p> <p>利用自体が少なくなることが心配というよりは出掛けられなくなっている人が出て くること自体が心配されます。コロナを機に外出を控えられて、それで体が弱ってし まって、結果、出掛けられなくなってしまったという方々が増えてきてしまったので あればそれは大きな問題であると思います。</p> <p>今は安心して乗れる状況ですので心配していた方々にも積極的に出掛けていただ けるような政策を打っていかないといけないのだろうなという気はしています。</p>
委 員	高齢者の移動支援の数字が変わっているのかはどこか聞き取りはしましたか。

事務局	全体としての移動支援で運んでいる数量が非常に少ない数になるので、把握するのは難しいですが、参考にさせていただきながら全体としての状況の把握に努めてまいります。
会長	他にご質問ご意見などありますでしょうか。
委員	異議なし。
会長	それでは次に進みたいと思います。 議題（１）くるりんばす路線改正に伴う料金体系の見直しについて事務局より説明をお願いします。
事務局	議題（１）について説明
委員	愛知県内の近隣市町であるみよし市、東郷町、長久手市などを参考にさせていただきたいです。高齢者の経済的負担も考え、70歳以上の無料化を検討してほしい。
委員	路線は8路線ありますが、路線によって利用者の差はかなり大きいと感じます。そのため、高齢者に安くすることで利用してもらおうというのは理解しにくい。バスを利用しない地域、人達がなぜ利用しないかを分析していただきたい。 地域によってはバス停まで行くのに山坂があり、足腰が悪いとバス停までも行けない。買い物に行けば、バス停で降ろされても重い荷物をもって自宅に帰れない。このような様々な意見もあります。 また、金銭的な問題で高齢者が利用するという考えはなく、イベントがないと出かけないと思います。コロナでなくなってしまったが、バスの運行を利用すると同時に地域で活性化するためのイベントなどを一緒に計画すると、バスを利用する機会が増えて乗客も徐々に増えてくるかもしれないと思います。
事務局	今回、くるりんばすの見直しを行っている中で一昨年前の公共交通計画策定の議論の中であがった話を抜粋して説明します。 その中で皆さんの不満の大きな要素は一方通行であり、これを解消するため、双方向で運行する体制にするように考えています。ただ、その際に便利になっただけでは乗っていただきにくいのではないかとご意見もあり、安くすることのサービスも合わせてやってはいかがとの話があったと記憶しております。 事業との連動性というところに関しては、声掛けをしていますが苦慮しています。そのため、出かけるという気持ちが前向きに変わるきっかけとして料金的なインセンティブはどうかというところが議論になっております。 自宅からバス停までも難しいという話については、この後のその他の報告で、デマンドタクシー実証実験の報告があります。ドアトゥドアということで丘陵地、75歳以上の割合が多い地区を優先的に実験の対象エリアとして選定させていただいた経緯があります。荷物などの状況に応じて、往復で手段を変えるなど、色々な交通を組み合わせさせていただくというような発想で行っているところです。
委員	行政の方が一生懸命ケーススタディされて、アイデアをお持ちなのは、こういう会議でお話を聞いて初めて私は理解しつつあります。

	<p>ただ、住民のところに届いているかっていうと全く届いてないように思われた方がいいと思います。バスなどの色々な交通公共交通政策に対して積極的に関心がなければ参加しないと思います。</p> <p>そこは非常に大きいネックになっていると思いますので、ぜひよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>その事態は懸念しており、令和3年度から令和4年度にかけて路線改正の見直しに向けて地区ごとの相談会を実施しました。令和3年度は公民館単位でしたが集まりが悪かったため、4年度は区ごとに実施しました。集会所などに集まっていただき、20か所以上まわり、地区の声を聞かせていただきました。</p> <p>その中でも参加できない方などもお見えだと思いますが、その場所のみが発言できる機会ということではないので、今後こうした機会を創出できるような仕組み作りが必要であると考えています。また、皆様から気軽に市役所にそういった要望ができるような仕組みも必要であると思います。</p>
会長	<p>バスのコースによって乗車数が違うのは地域特性のためやむを得ないです。</p> <p>一方で安くすればいいのか、は、すごく本質的なご質問だと思っております。公共交通で一般的には、「値上げしてもそれほど減りません。値下げしてもそれほど増えませんが」と言われております。従って、いわゆるいじめになってもいけないし、過剰なサービスにもなってもいけないというところで公共交通の料金というのは適正な運賃で定めていかないといけないと思っております。</p> <p>ただ一方で非常に運賃が負担になっている、そういったご高齢の方々も多くて、そういう声がたくさん事務局に届いているのも事実であります。そういったことに配慮しながら今回値下げというところを今検討していただいています。そして値下げをすれば願わくは乗ってもらえたらいいという範囲かなと思っております。</p> <p>それから目的がないっていうのは本当におっしゃる通りです。ですから公共交通の利用促進に一番重要なのはもちろんサービスの向上も重要なのですが目的を作ってあげるといことだと思っております。</p> <p>従って、求められるのは地域住民の方々との協働であり、そして地域の方々と一緒に目的を作ってそしてバスで出かけてもらおうというこの仕組みを作っていくといけません。</p> <p>広報はもうこれは永遠の課題だと思っております。公共交通だけじゃありません。一生懸命行政の方が住民の方々に伝達、広報、懇談会いろいろやられていますが、関心のない方は一切関心がない。ある時ふと関心を持った時に、自分で調べに動いてやっと情報が手に入る、というものだと思っております。</p> <p>ただ、私がいつも行政の方をお願いしたいのは「諦めずにとにかくずっと広報し続けてください」といことだと思っております。</p>
委員	<p>公助には限界があり、市がいくら良いシステムを作っても、やはり当てはまらない人は必ず出てくるので、公の機関に頼らず、地元の自治会あるいは有志等でやっていくことが必要なのではないかと思っております。</p>
委員	<p>武豊町は70歳以上又は65歳以上の免許返納者へ無料乗車券を渡すことになっていきます。しかし、なかなか65歳では車を手放せないなので、少しでも免許返納を悩ん</p>

	<p>でいる方への後押しになるようなことがあれば良いなと思いました。</p> <p>日進市では免許を返納される方は大体どのあたりの年齢が多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>データとしては入手おりません。ただ、窓口に来られる方を見ていると75歳以上の方が多く感じております。</p>
委員	<p>先ほど目的がないと出ないとおっしゃっていましたが、日常生活で食品などなくてはならないものが必ずあります。坂道などが多く、荷物もあるため、免許返納ができないのが現状です。よりお年寄りに優しい公共交通になってほしいと思います。</p>
会長	<p>今回はそのような思いを事務局として聞いて、高齢者75歳以上の方々への措置ではないかと思われま。</p> <p>それから今言われた買い物、通院というのは、コミュニティバスの主要な移動目的になっています。ですから、買い物通院、すなわち移動しなければならない目的のために利用されているという現実があります。</p> <p>ただ本来は楽しみのためにも乗って欲しいです。そんな公共交通を目指していかないとなかなか利用が増えていかない、すなわち移動せざるを得ない移動のためにムリムリ乗っているというのが現状です。そうではなく、楽しみにでも気楽に乗れる公共交通が実現できるのが望ましいです。</p> <p>そして、お年を召してもいろんな目的で楽しみのために社会に参加できるようなそういう街づくりも進めていかないといけない。そしてそれを支える交通手段というのが必要であります。</p> <p>車でなく移動できるその意味は、誰もが移動できるということですからそういう世界を目指しましょうということだと思っています。</p>
委員	<p>現行では市内の小中学生のみ無料となっています。隣の市のお友達と遊んだ時などに違いが出てしまうのは考えなければならないので、全国の小中学生を無料にしてほしいです。</p>
事務局	<p>市町村が実施する行政サービスというのは、基本的には住民を対象にしているという前提に基づいて、市内在住と条件をつけさせていただいてはいるところでもあります。ただ、近年市内での障害者の作業所などの施設が増えており、市外から通われる方も増えてきております。そのような方への配慮を考えているところではありますが、同様の発想に立って、中学生以下も同様であると皆様が判断いただければ、議論することであると思います。</p>
会長	<p>日進と申しますと全国的にも子供たちが多い自治体です。やはり子供たちにたくさん生まれてほしいし、若い世代がたくさん住んでほしいなと思いますし、願わくはそういう世代が日進に住み続けてもらうというのが市にとっては、結局大きなメリットになると思います。</p> <p>したがってましてご高齢の方々に対する優遇も必要ですが子供たちに対する優遇も本当はぜひお願いしたいなと思っています。</p> <p>一方でこれは我々日進市民が働いている税金で全部補填することになりますので市外から来る子供たちの運賃まで我々の税金を使うのかとか、そういう議論も必要になってくるということは念頭に置いておかないといけないです。</p>

委 員	少し感じましたが、核家族が増えすぎているのではないかと思います。自分の家族は自分で面倒を見るべきではないかと。行政に対してのお願い事をもっと家族の中でやっていけばいいと思っております。
会 長	現状では世帯数は増えています。ご高齢夫婦だけ、あるいは1人で住んでいる方が間違いなく増えてきている。そして公共のサービスに頼らざるを得ないというのが現実であります。ただし公共のサービスも十分ではないので、住民の方々同士の共助で助け合うような仕組みがまた出てきているということかと思っております。
会 長	その他いかがでしょうか。 皆さんからいただいた意見を参考にまた事務局の方で検討いただくことになると思っております。私から一つお願いしたいのは、こういう政策を導入したとき、それで効果をなかなか測定しませんし多いのですが、ぜひ効果を測定してほしいと思っております。 今回無料になるかどうかまだわかりませんが、何らかの優遇措置をすることによって出かけることが増えるというのが最大の効果だと思っております。それによって健康寿命が延びて、そして医療費が削減されて、というようなことになってくるので、そのベースはこの優遇措置を受けた方々がどれぐらいいて、それによってどれぐらい出かけることが増えたかっていうのを測らないといけないと思っておりますので、ぜひしっかりとデータを取るといったことをお願いしたいと思っております。 その上でまた見直すべきことは見直していくということをしていかないといけないのかなという気がしております。 それでは（２）地域公共交通利便増進実施計画の策定状況について説明を事務局からお願いします。
事 務 局	議題（２）について説明
委 員	今回バス停が双方向になるということで間違った方向に行く高齢者が増えてくるのが懸念されます。なので、バス停の色を変えるなど見える化をし、わかりやすいように工夫していただきたいです。
事 務 局	間違いが起こらないよう、どのようなことができるかというところも確認させていただきながら、努めます。
会 長	他にご意見ご質問等がありますか。 ないようですので、その他についてお願いします。
事 務 局	その他について説明
会 長	ありがとうございました。またしっかりご確認いただいてご質問ありましたら、事務局の方にお問い合わせいただければと思います。
会 長	その他のご意見やお知らせ等ございますか。
事 務 局	本日の会議はこれもちまして終了となります。次回の会議につきましては9月27日に開催する予定でございます。 それではこれで本日の会議を終了します。交通安全にお気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。
	午後3時30分 閉会